

令和3年11月9日

お知らせ

課名	県民生活部 男女共同参画青少年課
担当	男女共同参画班 小原、森田
内線	2551, 2553
直通	086-226-0553

ファジアーノ岡山FCとコラボ企画 親子でファジ飯を作ろう！ & 夫婦で家事・育児を考えよう！

県では、男性に家事・育児の楽しさを知っていただくとともに、夫婦で家事・育児の分担などを本音で話し合ってみていただくことで、男性の家庭生活への参画を促進することを目的として、次のとおり親子での料理教室等を開催しますので、お知らせします。

記

1 日 時 令和3年12月18日（土） 10:00～15:00

2 開催方法 オンライン（Zoom機能使用）

3 主 催 岡山県

4 内 容

（1）第1部（10:00～12:00） 「親子で料理教室！ファジ飯を作ろう！」

ファジアーノ岡山のクラブコミュニケーター（元選手）と専属栄養士のアドバイスの下、お母さんのサポートも受けつつ、お父さんとお子さんで選手向けに栄養バランス等を考えた「ファジ飯作り」に挑戦してみることで、男性に家事・育児の楽しさを知っていただくことを目的としています。

<事前調理シーンの撮影> ※取材可能です。

概 要：クラブコミュニケーター（元選手）と専属栄養士の方による調理シーンを撮影します。12月18日は当該シーンを流しつつ、トークを交えながらご家族に調理を行っていただきます。

撮影日時：令和3年11月14日（日） 9:00～12:00

場 所：岡山ガスショールーム アスパラガス

岡山市北区下石井 2-2-5 ニッセイ岡山スクエア 1F

(2) 第2部 (13:00~15:00)

「大変だけど楽しい！夫婦で家事・育児を考えよう！」

経験豊富な講師から家事・育児の楽しさややりがいについて話を聞き、より充実した家庭生活を送るための家事・育児のあり方について、夫婦で本音で話し合ってみることで、家事分担などを見直すきっかけにさせていただくことを目的としています。

5 定 員 先着10家族(夫婦、子ども)

6 参加費 無料

7 申込先 (株)穴吹カレッジサービス岡山営業所(本事業の受託者)

TEL:086-236-0225

8 申込方法 詳細は別紙チラシをご確認ください。



©2017 F.O.S.C

おか やま ま かく
ファジアーノ岡山とコラボ企画!

ファミ飯めしを作ろう!

親子おやこで!

選手の強手の秘密がわかるかも!?

パパと一緒に!

ママもお手伝い!

さんか参加

無料

定員(先着順)

家族10組

(夫婦・こども)

夫婦で家事・育児を考えよう!

お父さんに、家事や育児の楽しさを知っていただき、よりよい家庭生活を!

12/18土

第1部 10:00-12:00

第2部 13:00-15:00

※お申込みいただいた方には、第1部・第2部の両方を受講していただきます。



©2004 F.O.S.C

オンラインイベント内容

※Zoomミーティングにより開催します。参加に関する詳細は、お申込み後メールにてご案内致します。なお、オンライン環境等はご自身でご準備いただけますようお願い致します。

第1部 親子で料理教室!ファミ飯を作ろう!

第2部 大変だけど楽しい!夫婦で家事・育児を考えよう!



ファジアーノ岡山のクラブコミュニケーター(澤口雅彦選手)と専属栄養士の方による料理教室をオンラインで開催します。ご自宅でお母さんのサポートのもと、お父さんとお子さんでファミ飯を楽しく作りましょう!



メニュー

- ごはん
- にんじんとツナの和え物
- コロコロハンバーグ
- ごろごろスープ
- 付け合わせ (プチトマト・ブロッコリー)

当日必要な物

一般的なキッチン用品・食器・調理器具・レンジ

※その他必要な材料や当日のレシピは、12月1日(水)までにWebサイトに掲載予定

ゲスト



澤口 雅彦氏

ファジアーノ岡山に2009~2018シーズン在籍し、2020シーズンをもってプロサッカー選手を引退。2021年3月に株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブに入社し、クラブコミュニケーターとして地域とクラブの発展に活躍中。



真鍋 芳江氏

ファジアーノ岡山の栄養アドバイザーとして、食事管理面で選手をサポート中。

資格
公認スポーツ栄養士



自身も失敗を繰り返してきた講師から家事・育児の大変さ、楽しさ、やりがいについて話を聞き、より充実した家庭生活を送るための家事・育児のあり方や分担について、ご夫婦で考えてみてください。

講師

磯田 周佑氏



上智大学経済学部卒業後、大手通信企業に勤め、ロンドン赴任を経て携帯電話事業企画の仕事に従事。結婚やマンション購入という人生の節目である35歳を過ぎた頃、自分のキャリアに閉塞感を感じ、社会人大学院(MBA)に挑戦。その際、地域こそ日本の問題点が顕在化している課題先進エリアであると考え始める。大学院修了と同時に退職し、小豆島へ移住。現在は小豆島ヘルシランド(株)の経営企画室室長を務めながら、妻・1歳半の息子・犬(ジャックラッセルテリア)の4人でコンテナハウスに暮らす。

